

# 行政におけるChatGPTの活用例 —村上市DX本部会議—

2023年6月27日

株式会社コパイロット 米山知宏

- GPTなどのLLM（Large Language Models / 大規模言語モデル）
  - ある文章に対して、次に続く確率が高い言葉を返してくれるもの
  - 「私はご飯を・・・」 → 「食べる」
- ChatGPTは、チャット機能を通じてGPTの機能を活用するもの
  - こちらが望むものをChatGPTに出してもらうためには、適切な「命令文」を打ち込むことが重要
  - 「村上市の良さは？」というような漠然とした質問だと、一般的な回答しか返ってこない

# ChatGPTの活用テーマ例

- 文章作成・校正
- アイデア出しやフィードバック
- プロジェクト設計・会議設計
- Excelの数式を相談
- ロールプレイング（研修コンテンツとして）

文章作成・校正

## 要約（プロンプト文）

### #命令文：

次の文章を小学生にもわかる表現で箇条書き形式で要約してください。

### #文章：

我が国は、平成 20 年をピークに総人口が減少に転じ、全国的に人口減少・少子高齢化が進行しています。本市では、特に山間部や海岸部の集落で人口減少が顕著であり、平成 27 年（国勢調査）に 62,442 人であった人口は、令和 2 年（国勢調査）には 57,418 人と 5 年間で約 5,000 人減少しました。主な理由として少子化のほか、進学や就職に伴う若者の転出超過が主な要因と考えられます。近年、市内産業の人材不足や町内など地域活動の担い手不足などが顕在化しており、このまま進行すると地域社会への影響が更に大きくなるのが懸念されています。また、高齢化が進む本市では、高齢者が人口の約 4 割を占めており、今後、医療や介護など高齢者を支える費用等が増加すれば、若い世代への負担が更に大きくなることも考えられます。こうした状況

を冷静に把握しながら、人口構造の変化に伴う様々な課題に対処していくとともに、高齢世代をはじめ多様な人材が関わりながら、誰もがいきいきと活躍する地域社会をつくる必要があります。

昨今、全国各地で気象の急激な変化が多くなったと感じている人も多いのではないのでしょうか。地球温暖化が原因とみられる異常気象などにより、毎年甚大な自然災害が全国各地で発生し、防災に関する意識は年々高まっています。本市は手つかずの自然環境に恵まれ、その恩恵を受ける一方で、広大な市域に小さな集落が点在しており、山間部や海岸部などの小さな集落では高齢化も進んでいることから、防災面では課題が多い自治体であるといえます。このため、身近な地域の基礎的防災力を高めるとともに、日本海沿岸東北自動車道を活かした交通ネットワークの構築など、防災基盤の強化に取り組む必要があります。

また、災害とも言える新型コロナウイルス感染症が日本では令和 2 年初頭から発生し、長期間にわたる流行は、市民生活や地域経済に大きな混乱と影響を及ぼしています。新型コロナウイルスは、次々と変異株が発生することで、流行の波が幾度も押し寄せ、生活や経済などあらゆる社会システムがこれまで経験したことのない対応を強いられています。そうした中で、ニューノーマル（新しい生活様式）への対応が進み、「ウィズコロナ」という考え方のもと、感染症対策を進めながら経済や社会の活動を止めることなく動かしているという取組も行われています。

出典：上記文章は、[第3次村上市総合計画](#) より

### 3 社会動向と本市の課題

我が国は、平成 20 年をピークに総人口が減少に転じ、全国的に人口減少・少子高齢化が進行しています。本市では、特に山間部や海岸部の集落で人口減少が顕著であり、平成 27 年（国勢調査）に 62,442 人であった人口は、令和 2 年（国勢調査）には 57,418 人と 5 年間で約 5,000 人減少しました。主な理由として少子化のほか、進学や就職に伴う若者の転出超過が主な要因と考えられます。近年、市内産業の人材不足や町内など地域活動の担い手不足などが顕在化しており、このまま進行すると地域社会への影響が更に大きくなるのが懸念されています。また、高齢化が進む本市では、高齢者が人口の約 4 割を占めており、今後、医療や介護など高齢者を支える費用等が増加すれば、若い世代への負担が更に大きくなることも考えられます。こうした状況を冷静に把握しながら、人口構造の変化に伴う様々な課題に対処していくとともに、高齢世代をはじめ多様な人材が関わりながら、誰もがいきいきと活躍する地域社会をつくる必要があります。

昨今、全国各地で気象の急激な変化が多くなったと感じている人も多いのではないのでしょうか。地球温暖化が原因とみられる異常気象などにより、毎年甚大な自然災害が全国各地で発生し、防災に関する意識は年々高まっています。本市は手つかずの自然環境に恵まれ、その恩恵を受ける一方で、広大な市域に小さな集落が点在しており、山間部や海岸部などの小さな集落では高齢化も進んでいることから、防災面では課題が多い自治体であるといえます。このため、身近な地域の基礎的防災力を高めるとともに、日本海沿岸東北自動車道を活かした交通ネットワークの構築など、防災基盤の強化に取り組む必要があります。

また、災害とも言える新型コロナウイルス感染症が日本では令和 2 年初頭から発生し、長期間にわたる流行は、市民生活や地域経済に大きな混乱と影響を及ぼしています。新型コロナウイルスは、次々と変異株が発生することで、流行の波が幾度も押し寄せ、生活や経済などあらゆる社会システムがこれまで経験したことのない対応を強いられています。そうした中で、ニューノーマル（新しい生活様式）への対応が進み、「ウィズコロナ」という考え方のもと、感染症対策を進めながら経済や社会の活動を止めることなく動かしていこうという取組も行われています。

- 我が国の人口は減少しており、特に山間部や海岸部の集落で人口が減っています。
- これは少子化や若者の転出が主な理由です。
- 人口減少が進むことで、町の活動や産業に人手不足が生じています。
- 高齢者が人口の約 4 割を占めており、医療や介護の費用が増えることで若い世代への負担が大きくなる可能性があります。
- 気候の急激な変化があり、地球温暖化による異常気象や自然災害が増えています。
- 本市は自然環境に恵まれています。小さな集落の防災力が低い。防災に課題があります。
- 新型コロナウイルス感染症が流行しており、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。
- 新しい生活様式に対応するために、感染症対策と経済・社会の活動を両立させる取り組みが行われています。

## 文章化（プロンプト文）

下記の要素をもとに、日本語で1500文字の文章を作成してください。

---

- ・我が国の人口は減少しており、特に山間部や海岸部の集落で人口が減っています。
- ・これは少子化や若者の転出が主な理由です。
- ・人口減少が進むことで、町の活動や産業に人手不足が生じています。
- ・高齢者が人口の約4割を占めており、医療や介護の費用が増えることで若い世代への負担が大きくなる可能性があります。
- ・気候の急激な変化があり、地球温暖化による異常気象や自然災害が増えています。
- ・本市は自然環境に恵まれていますが、小さな集落の防災力が低いため、防災に課題があります。
- ・新型コロナウイルス感染症が流行しており、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。
- ・新しい生活様式に対応するために、感染症対策と経済・社会の活動を両立させる取り組みが行われています。



## 文章化（実行例）

下記の要素をもとに、日本語で1500文字の文章を作成してください。

---

- ・我が国の人口は減少しており、特に山間部や海岸部の集落で人口が減っています。
- ・これは少子化や若者の転出が主な理由です。
- ・人口減少が進むことで、町の活動や産業に人手不足が生じています。
- ・高齢者が人口の約4割を占めており、医療や介護の費用が増えることで若い世代への負担が大きくなる可能性があります。
- ・気候の急激な変化があり、地球温暖化による異常気象や自然災害が増えています。
- ・本市は自然環境に恵まれています、小さな集落の防災力が低いため、防災に課題があります。
- ・新型コロナウイルス感染症が流行しており、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。
- ・新しい生活様式に対応するために、感染症対策と経済・社会の活動を両立させる取り組みが行われています。



我が国の人口は減少しており、特に山間部や海岸部の集落で人口が減っています。この人口減少の主な理由は、少子化や若者の転出です。若い世代が都市部に流れていくことで、地方の集落はますます寂れていく様相を呈しています。

人口減少が進むことで、町の活動や産業に人手不足が生じています。特に高齢者が人口の約4割を占めているため、医療や介護の費用が増え、若い世代への負担が大きくなる可能性があります。地方の集落では、若者の減少に伴い、地域の経済活動が停滞し、町の活気も失われつつあります。

さらに、気候の急激な変化があり、地球温暖化による異常気象や自然災害が増えています。山間部や海岸部の集落は自然環境に恵まれている一方で、小さな集落の防災力が低いため、災害に対する防災意識や準備が不十分です。この点においても、地方の集落には課題が存在しています。

また、新型コロナウイルス感染症が流行しており、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。感染症対策のためには、社会の活動を制限しなければならない一方で、地域経済の回復も急務です。このため、新しい生活様式に対応するための感染症対策と経済・社会の活動を両立させる取り組みが行われています。

地方の集落が将来にわたって持続可能な発展を遂げるためには、若者の定住促進策や地域活性化策が必要です。また、気候変動への対策や防災意識の向上も重要です。これらの課題に取り組むことで、地方の集落が活気を取り戻し、持続的な発展を遂げることができるでしょう。

## 文章の添削（プロンプト文）

#命令文：

次の文章を以下の条件で添削してください。

#条件：

- ・ テーブル形式で出力してください。添削前、添削後、理由を含めてください。
- ・ 分かりやすく簡潔な文章を提案してください。

#文章：

（ここに文章を記載）

## 文章の添削（実行例）

離乳食について「どうやって進めたらいいの？」など疑問に思っていることはあるか？この教室では「離乳食の進め方と生活リズム」についての講話を行う。

情報交換の場としてもお気軽にご参加ください。育児についての個別相談にも応じます。

新型コロナウイルスの感染症の拡大を防ぐため、受講される方につきましては、体調管理や手洗い、咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、今後の新型コロナの状況により、中止する場合がありますので、ご了承ください。



添削前	添削後	理由
離乳食について「どうやって進めたらいいの？」など疑問に思っていることはあるか？	離乳食の進め方について疑問やお悩みはありますか？	より簡潔な表現にしました。
この教室では「離乳食の進め方と生活リズム」についての講話を行う。	当教室では「離乳食の進め方と生活リズム」について講話します。	より直接的な表現にしました。
情報交換の場としてもお気軽にご参加ください。育児についての個別相談にも応じます。	情報交換の場として、ぜひご参加ください。また、育児に関する個別相談も受け付けます。	より分かりやすく簡潔な表現にしました。
新型コロナウイルスの感染症の拡大を防ぐため、受講される方につきましては、体調管理や手洗い、咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。	受講される方は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、体調管理や手洗い、咳エチケットの徹底にご協力ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力ををお願いします。	より簡潔な表現にしました。
なお、今後の新型コロナの状況により、中止する場合がありますので、ご了承ください。	ただし、今後の新型コロナの状況によっては、中止する場合がありますので、ご了承ください。	より丁寧な表現にしました。

※「理由」は各添削に対する説明です。

アイデア出しやフィードバック

# 命令文：

・ 以下の出力形式に従って、自治体の政策・事業についての斬新なアイデアを記述してください。

# 出力形式：

- ・ 表形式
- ・ 縦軸：対象年齢（20代、30代、40代、50代、60代以上）
- ・ 横軸：ジャンル（交通・子育て・教育・産業・観光）

## アイデア出し（実行例）

	交通	子育て	教育	産業	観光
20代	自転車通勤の推進。交通渋滞緩和と健康促進の両面に効果がある。	子育て支援施設の充実。保育所や子育て支援センターの設置を拡大する。	オンライン学習プラットフォームの充実。柔軟な学習環境を提供し、多様な人材育成に寄与する。	スタートアップ支援プログラムの創設。新たな産業の育成を促進する。	地域資源の活用。観光資源を最大限に生かし、地域経済の振興を図る。
30代	シェアリングエコノミーの推進。カーシェアリングやバイクシェアリングの普及を促進する。	公共的な子育て支援ネットワークの構築。情報共有や相互支援を通じて子育ての負担を軽減する。	プログラミング教育の普及。情報技術の基礎を身につけることで未来の産業に対応できる人材を育成する。	地域産業と大学の連携強化。研究成果を実業界に還元し、新たな産業の創出を促進する。	ツーリズムマーケティングの強化。魅力的な観光プロモーションを展開し、観光客の誘致を図る。
40代	交通インフラの効率化。公共交通の運行頻度や路線拡充を図り、移動の便益を高める。	シニア世代の育児支援プログラムの実施。子育て経験のあるシニアが若い世代をサポートする取り組みを推進する。	職業訓練プログラムの充実。中高年の再就職やスキルアップを支援し、産業界のニーズに応える人材を育成する。	地域産業のブランディング。地元の特産品や技術を活かしたプレミアム商品の開発と販路拡大を目指す。	文化イベントの多様化。伝統行事や地域の祭りなど、地域の魅力を引き出すイベントを積極的に開催する。
50代	自動運転技術の導入。高齢者や障害者の移動の利便性を向上させる。	在宅ワークの支援。柔軟な働き方を促進し、仕事と介護の両立を支える制度を整備する。	シニア向けのライフロングラーニングプログラムの提供。知識や技術の継続的な学習を支援し、生涯学習社会の実現を目指す。	中小企業の経営支援。事業承継や新規事業展開の支援策を提供し、地域経済の活性化を図る。	ツアーパッケージの多様化。シニア世代に合った旅行プランを提供し、充実した観光体験を提供する。

## アイデア出し（プロンプト文）

### # 命令文：

- ・以下の出力形式に従って、自治体の政策・事業についての斬新なアイデアを記述してください。

### # 政策・事業のテーマ

稲作の活性化

### # 出力形式：

- ・表形式
- ・横軸：案1～案3
- ・縦軸：下記の「アイデア出しの観点」

### # アイデア出しの観点：

- 【転用】他の使い道や、改善することで新しい使い道はないか？
- 【応用】何か、真似できるアイデアはないか？
- 【変更】見た目や音、匂いなどを変えてみるとどうなる？
- 【拡大】何かを加えることで、大きく・強く・高くできないか？
- 【縮小】何かを減らすことで、小さく・弱く・低くできないか？
- 【代用】他に代用できるものはないか？
- 【置換】要素・パターンを入れ替えてみたらどうなる？
- 【逆転】後ろ向きにしたら？上下・左右をひっくり返したら？
- 【結合】組み合わせたり混ぜてみたらどうなる？

## アイデア出し（実行例）

アイデア出しの観点	案1	案2	案3
転用	他の作物との連携で利益向上	稲作の副産物の利用拡大	稲作地域の観光振興
応用	稲作の技術を他の産業に応用	稲作のデータ活用	稲作のICT技術導入
変更	稲の品種改良	稲作の音楽イベント	稲作の香り付き商品開発
拡大	稲作の面積拡大	稲作と農業観光の複合施設	稲作の輸出促進
縮小	稲作の都市部への導入	稲作の省スペース栽培	稲作の小規模経営支援
代用	代替作物への転換	稲作の代替資材使用	稲作の代替栽培方法導入
置換	稲の代わりに別の作物を栽培	稲作のデザイン変更	稲作の新しい作業工程
逆転	稲作の逆季節栽培	稲作の天井栽培	稲作の水中栽培
結合	稲作と養蜂の組み合わせ	稲作と地域のイベント結びつけ	稲作と農産物加工の連携



## アイデア出し（プロンプト文）

あなたは公共政策の立案を担っているプロフェッショナルです。  
私は「農業を活性化するための事業の立案」で悩んでいるため、アドバイスをください。  
このタスクで最高の結果を出すために、もっと情報が必要な場合は、どんどん質問をしてください。

## アイデア出し（実行例）



あなたは公共政策の立案を担っているプロフェッショナルです。  
私は「農業を活性化するための事業の立案」で悩んでいるため、アドバイスをください。  
このタスクで最高の結果を出すために、もっと情報が必要な場合は、どんどん質問をしてください。



ありがとうございます！農業を活性化するための事業の立案についてお手伝いできます。



まずは、具体的な目標や要件について教えていただけますか？例えば、地域の農業の収益性向上、持続可能性の向上、新たな市場の開拓など、特定の目標をお持ちかもしれません。それによって、より具体的なアドバイスを提供できます。

また、以下の情報を教えていただくと、より詳細なアドバイスができます：

1. 対象地域や対象産業：農業の活性化を目指す地域や特定の農業産業があれば教えてください。
2. 現状の課題：地域や産業における農業の課題や問題点について教えてください。
3. リソース：利用可能な予算や人的リソースについて教えてください。
4. 競争状況：競合他社や既存の取り組みについて教えてください。

これらの情報を提供していただければ、より具体的なアドバイスをお伝えできますので、どうぞお教えください。

## 政策や事業についての意見を様々立場の人からもらう（プロンプト文）

### #命令文：

あなたは、人口5万人の行政職員です。

以下の【プロセス】を通じて、あなたが検討している【事業内容】についての改善提案を検討してください。

### #プロセス：

- 1) 下記の【事業内容】について、【外部アドバイザー】からのフィードバックをもらってください（記載してください）
- 2) 上記1)のフィードバック内容を踏まえて、行政職員であるあなたの改善提案を検討してください（記載してください）。

### #事業内容：

地元で取れる農産物からより所得を得られるようにするため、  
海外で展示会・試食会を開催する事業。

### #外部アドバイザー：

参加者A：30歳女性（子どもが2人いる母親）：行政の活動に対して応援的

参加者B：地元で長年お店を営んでいる経営者（60歳男性）：行政に対して批判的

参加者C：農産物の輸出を行っている事業者（30歳男性）：行政に対して批判的

参加者D：公共政策に詳しい学者（女性）

### #フィードバックの観点：

- ・メリット
- ・デメリット
- ・リスク

## 政策や事業についての意見を様々立場の人からもらう（実行例）

### 【メンバーのフィードバック】

#### 参加者A：

メリット：地元の農産物が海外でも広まる機会になるため、農家の所得向上につながる可能性があります。また、海外での展示会・試食会は新しいマーケットを開拓するため、将来的にビジネスチャンスになるかもしれません。

デメリット：海外での展示会や試食会に参加するためには時間と費用がかかります。子育て中の母親としては、参加のハードルが高いかもしれません。

リスク：海外市場での需要や競合状況を事前に調査しないと、効果的な展示会や試食会を開催することが難しいかもしれません。また、物品の輸送や品質管理にも注意が必要です。

#### 参加者B：

メリット：地元の農産物の価値を海外にアピールする機会になるため、地域の農業振興につながる可能性があります。また、海外での展示会や試食会は自身の経営する店舗の広告効果にもなるかもしれません。

デメリット：展示会や試食会に参加するための費用や時間の確保が課題です。また、海外市場の需要や競合状況を把握せずに進めると、効果が出ない可能性があります。

リスク：商品の品質や物流の面で問題が生じる可能性があります。また、海外でのビジネス展開には文化や言語の違いを考慮しなければならず、その対応にも注意が必要です。

#### 参加者C：

メリット：海外での展示会や試食会は地元の農産物のブランディングに役立つ可能性があります。また、公共政策の観点からも地域経済の活性化や雇用創出に繋がるかもしれません。

デメリット：展示会や試食会の成功には市場調査やマーケティング戦略の構築が欠かせません。適切なリサーチを行わないと、効果が期待できないかもしれません。

リスク：海外市場での評判や需要予測が難しいため、予想外の結果が生じるリスクがあります。また、現地の規制や法律に適合しない可能性もあるため、事前の調査が重要です。

#### 参加者D：

メリット：海外での展示会や試食会は農産物の輸出拡大に繋がる可能性があります。新たな販路を見つけることで、農業関連事業者の収益向上が期待できます。

デメリット：展示会や試食会に参加するためには時間と費用がかかります。また、海外市場での競争力を確保するためには、品質管理や物流体制の整備が必要です。

リスク：海外市場での需要予測や競合状況を事前に把握しないと、効果的な展示会や試食会を実施することができないかもしれません。また、物品の輸送中に品質が損なわれるリスクも考慮しなければなりません。

### 【改善提案】

#### 1. 市場調査とマーケティング戦略の充実：

展示会や試食会を開催する前に、海外市場の需要や競合状況を詳しく調査し、マーケティング戦略を構築する必要があります。参加者Cの公共政策に詳しい学者と協力して、地元農産物のブランディングや需要予測について研究・分析を行いましょう。

#### 2. 協力体制の構築：

参加者Dとの連携を強化し、農産物の品質管理や物流体制の改善に取り組みましょう。品質の確保と効率的な輸送は成功の鍵となります。また、地元の農家や関連事業者との連携も重要です。参加者Bが地元の経営者として経験を持っているため、彼のアドバイスや協力が積極的に取り入れましょう。

#### 3. リスク管理の強化：

海外展示会や試食会におけるリスクを事前に洗い出し、対策を立てる必要があります。物品の輸送中の品質管理や現地の規制遵守、文化や言語の違いへの対応などに注意を払いましょう。参加者Aのフィードバックを踏まえ、子育て中の母親が参加しやすい環境づくりも考慮しましょう。

#### 4. 継続的な評価と改善：

展示会や試食会の結果を評価し、改善点を洗い出して次回に生かすためのサイクルを確立しましょう。フィードバックを受け取り、参加者全員の意見を反映させることで、より効果的な事業展開が可能となります。

以上の改善提案を通じて、地元で取れる農産物からより所得を得られるための海外展示会・試食会事業を効果的かつ持続可能なものにするができるでしょう。

## 政策や事業について、複数名でディスカッションさせて、メリット・デメリット・リスクを洗い出す

### # 命令文：

あなたは公共政策に詳しいコンサルタント・ファシリテーターです。  
以下の【プロセス】で議論を進めて、最終的な結論を提示してください。

### # プロセス：

- 1) 下記の【議論のテーマ】について、【ディスカッション参加者】がそれぞれの立場からの意見（考え・理由）を発言する。
- 2) 各自からの意見に対して、【ディスカッション参加者】が意見（賛成・反対・リスクやその理由）を発言する。
- 3) 参加者からの意見を踏まえて、あなたが最終的な結論をまとめて、提示する。

### # 議論のテーマ：

人口減少問題は、解決すべきイシューか？  
解決すべきイシューだとするならば、どのような解決策が考えられるか？

### # ディスカッションの参加者：

参加者A：30歳女性（子どもが2人いる母親）  
参加者B：地元で長年お店を営んでいる経営者（60歳男性）  
参加者C：公共政策に詳しい学者（女性）

## 複数名でのディスカッション（実行例）

1

参加者A：「私は2人の子供を持つ母親として、人口減少問題は解決すべきだと思います。子供たちが大人になったときには、働く人口が減少して、税収が少なくなり、社会保障が維持できなくなる可能性があります。それは私たちが育てている子供たちの未来を脅かす可能性があります。解決策としては、少子化対策として子育て支援を充実させること、移民を積極的に受け入れることなどを考えます。」

参加者B：「私の立場から言えば、確かに人口減少は問題です。特に地方では若者が都会へと流出してしまい、商売を続けるのが難しくなっています。解決策の一つとして、地方創生策を強化し、地域に活力を持たせて若者を留める環境作りが重要だと考えます。」

参加者C：「私は学者として、人口減少そのものは必ずしも問題ではないと思います。人口が減少することによる経済への影響や社会構造の変化は大きいですが、それをどう捉えるかは視点の問題です。持続可能な社会を築く視点から見れば、人口の適正化という意味でも人口減少は一定の意味を持ちます。しかしながら、その過程で生じる様々な問題に対する対策は必要です。」

2

これらの意見を踏まえ、皆さんはどう感じますか？

参加者A：「BさんとCさんの意見も理解できます。私の子供たちが都会へ流出せず、地方で生活できるような環境があればいいなと思います。また、Cさんの言う通り人口の適正化は大事だと思いますが、それによって生じる問題への対策が急務だと感じます。」

参加者B：「Aさんの子育て支援の充実や、Cさんの人口の適正化という視点も大切だと思いました。それに加えて、経済の視点からも地方の活性化が必要だと改めて感じます。」

参加者C：「AさんやBさんの意見を聞くと、人口減少問題を解決するための策は、一つではなく多角的な視点からの対策が必要と感じます。子育て支援、移民政策、地方創生といった様々な施策が連動して働くことが必要ですね。」

3

以上のディスカッションをまとめて、私の結論を提示します。

人口減少問題は、解決すべきイシューであるという共通認識がありました。解決策としては、子育て支援の充実や、地方創生策の強化、さらには移民政策などが挙げられました。これらは互いに連動する形で取り組まれるべきで、それぞれが対策としての役割を果たします。しかし、その中でも、人口減少そのものを問題視するのではなく、それによって生じる問題への対策が重要であるという視点が必要であるとの意見もありました。これは、持続可能な社会を築く上での視点として重要なものであり、そのためにも様々な策がバランスよく働くことが重要だと結論づけます。

# ロジックモデルを作成（プロンプト文）

# 命令文：

下記のロジックモデルを作成してください。

# 初期仮説：

目的：人口減少状態を解消するため

活動：転入促進のイベント

# 条件：

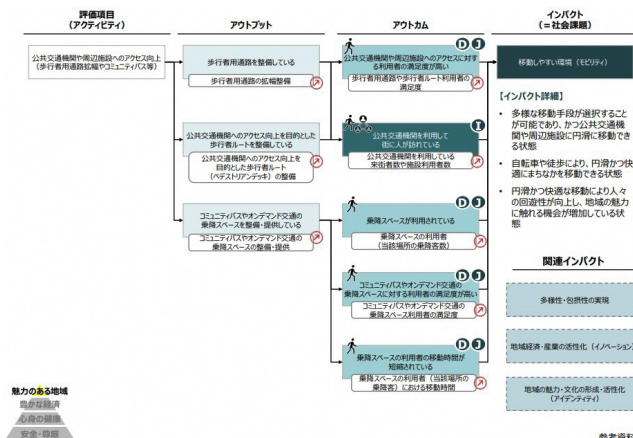
・ロジックモデルは、下記の【ロジックモデルの構造】をベースにしてください。

・上記の【初期仮説】に書いた「目的」や「事業」も見直してください。

・目的に対して考えられる手段は、複数記載してください。

# ロジックモデルの構造：

- ・アウトカム
- ・アウトプット
- ・活動
- ・インプット



出典：[https://www.mlit.go.jp/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo/content/001584899.pdf](https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/content/001584899.pdf)

## ロジックモデルを作成（実行例）

1. アウトカム（Outcome）：
  - 地域の人口が増加し、人口減少状態が解消される。
2. アウトプット（Output）：
  - 転入促進イベントの実施
  - 情報の発信と広報活動
3. 活動（Activities）：
  - a. 転入促進イベントの実施：
    - 地域の魅力をアピールするイベントの計画と実施
    - 住民参加型の交流イベントや観光プログラムの提供
    - 転入者向けのサポート体制の整備
  - b. 情報の発信と広報活動：
    - 地域の特産品や観光資源の魅力をPRするマーケティング戦略の策定
    - ウェブサイトやソーシャルメディアを活用した情報発信
    - パンフレットや広告を通じた地域の魅力の広報
4. インプット（Inputs）：
  - 地域の特産品や観光資源の情報と画像
  - 地域の住民参加型イベントの企画能力
  - 地域の転入者に対するサポート体制の整備
  - マーケティング戦略の策定に関する知識と人材
  - ウェブサイトやソーシャルメディアの運営能力
  - パンフレットや広告制作の資金とデザイン能力

このロジックモデルでは、地域の人口減少状態を解消するために、転入促進のイベントを中心に活動します。具体的には、地域の魅力をアピールするイベントの計画と実施、住民参加型の交流イベントや観光プログラムの提供、転入者向けのサポート体制の整備などを行います。また、情報の発信と広報活動も重要であり、マーケティング戦略の策定やウェブサイト、ソーシャルメディア、パンフレット、広告などを通じて地域の魅力を広く知らせます。



## カスタマージャーニーマップを作成（プロンプト文）

### # 命令文：

下記の【テーマ】について、下記の【表形式の項目】で構成される表形式でカスタマージャーニーマップを作成してください。

なお、最高のカスタマージャーニーマップを作成するために、追加の情報が必要な場合は、質問をしてください。

### # 表形式の項目：

- ・ ステップ
- ・ ユーザーエクスペリエンス
- ・ タッチポイント
- ・ ユーザーの感情
- ・ ユーザーが直面する可能性のある課題や障害

### # テーマ：

行政窓口で引越の手続きをする。

なお、窓口の手続き以外の前後のユーザーの行為についてもカスタマージャーニーマップに含んでください。

## カスタマージャーニーマップを作成（実行例）

ステップ	ユーザーエクスペリエンス	タッチポイント	ユーザーの感情	ユーザーが直面する可能性のある課題や障害
1	引越の必要性を感じる	インターネット、友人の紹介	興味、興奮	引越の手続き方法や必要書類の不明確さ
2	引越の手続きに関する情報を収集	インターネット、電話、友人	興味、不安	手続きに必要な書類や条件の理解不足
3	行政窓口に向かう	電車、バス、タクシー、徒歩	期待、不安	窓口の場所や営業時間の不明確さ
4	窓口での手続きを開始	窓口の受付、書類提出	緊張、不安	長時間待たされること、混雑していること
5	必要な書類を提出	書類提出	不安、期待	必要な書類が不足していること
6	手続きの進行状況を確認	窓口の対応、案内板	不安、期待	手続きの進行状況が不明確なこと
7	支払いや手続きの完了	支払い窓口、書類受け取り	安堵、満足	支払い方法の制約や手続きの複雑さ
8	新居への移動準備	梱包、引越業者の手配	期待、興奮	引越費用や引越業者の信頼性の不安
9	新居への引越	引越業者のトラック、移手段	緊張、期待	搬入困難な状況や荷物の損傷
10	新居での生活開始	家具の配置、新しい環境の探索	期待、興奮	部屋のレイアウトや生活環境の適応

プロジェクト設計、会議設計

## プロジェクト設計（プロンプト文）

### # 命令文：

あなたは、プロジェクト設計のプロフェッショナルコーチです。  
プロのプロジェクト設計コーチとして、私のプロジェクトのゴール設計をサポートして下さい。

### # プロセス：

- ・「プロジェクトのゴール」の内容を踏まえて、あなたは私にマイルストーンを提案します。なお、マイルストーンの出力にあたっては、「マイルストーンを設計する上での条件」を踏まえた上で、「マイルストーンの出力形態」の形をベースにして下さい。
- ・その後、あなたが提案をしてくれたマイルストーンについての意見を私に求めて下さい。この意見・確認がマイルストーン設計ではとても重要になるので、マイルストーンをより質の高いものにするために確認すべき事項をあなたから私に何度か質問して下さい。

### # プロジェクトのゴール

- ・自治体における「政策立案研修事業」を実施して、職員に政策立案スキルを獲得してもらうこと

### # マイルストーンを設計する上での条件：

- ・期間：今年度1年間（2023年4月～2024年3月）
- ・2023年9月に、一度市長にその時点での成果を報告するので、それもマイルストーンに組み込むこと

### # マイルストーン設計の考え方：

- ・マイルストーンは、基本的には3フェーズから5フェーズに分解して下さい
- ・最初の方に、プロジェクトを始めるにあたっての前提をすり合わせる時間を十分に取る（プロジェクトの目的をすり合わせたりや、参加メンバーの思いを確認する時間を十分に取る）

### # マイルストーンの出力形態：

- ・表形式で出力して下さい（項目は以下）  
マイルストーンのタイトル | 実施事項 | マイルストーンのゴール | 期間 | 進める上で注意すべきことやリスク
- ・なお、「マイルストーンのタイトル」には、番号付きリストは使用しないでください。
- ・補足：「マイルストーンのゴール」については、「XがYできている状態」という形式で表現すること

## プロジェクト設計（実行例）

マイルストーンのタイトル	実施事項	マイルストーンのゴール	期間	進める上で注意すべきことやリスク
「プロジェクトの立ち上げ」	プロジェクトの目的や方針をすり合わせ、参加メンバーの思いを確認します	全員がプロジェクトの目的と方針を理解し、参加意欲を持っている状態	2023年4月-2023年5月	意見のすり合わせに時間がかかるリスクがあるため、最初から十分な時間を確保することが重要
「研修カリキュラムの開発」	政策立案スキルを獲得するためのカリキュラムを設計します	全ての参加者が研修内容を理解し、活用する意欲を持っている状態	2023年6月-2023年8月	カリキュラムが職員の現場の課題を解決するものであるかを確認することが重要
「市長への中間報告」	市長にプロジェクトの進行状況と今後の展開について報告します	市長がプロジェクトの進行状況と今後の計画を理解し、サポート意向を示している状態	2023年9月	市長に報告するためには、具体的な進捗状況と具体的な計画が必要
「研修の実施と評価」	研修を実施し、その効果を評価します	参加者全員が研修を終え、自分のスキルアップを実感している状態	2023年10月-2024年1月	研修の効果測定には、明確な評価基準と定期的なフィードバックが必要
「プロジェクトのクロージング」	プロジェクトの結果を全体で共有し、今後の課題や改善点を整理します	参加者全員がプロジェクトの成果と課題を理解し、次につなげる意欲を持っている状態	2024年2月-2024年3月	全員が自分の成長を感じることで、

## 会議設計（プロンプト文）

### # 命令文：

あなたは、MTG設計のプロフェッショナルコーチです。  
プロのMTG設計コーチとして、私のMTGのアジェンダ設計をサポートして下さい。

### # プロセス：

- ・ 下記の「MTGのゴール」および「MTGを設計する上での条件」の内容を踏まえて、あなたは私にMTGアジェンダを提案します。なお、アジェンダの出力にあたっては、「アジェンダ設計の考え方」を踏まえた上で、「アジェンダの出力形態」の形をベースにして下さい。
- ・ その後、あなたが提案をしてくれたMTGアジェンダについての意見を私に求めて下さい。この意見・確認がアジェンダ設計ではとても重要になるので、MTGアジェンダをより質の高いものにするために確認すべき事項をあなたから私に何度か質問して下さい。

### # MTGのゴール：

- ・ 来年度実施する事業案を決定したい

### # MTGを設計する上での条件：

- ・ MTG時間：2時間
- ・ MTGを進める上で大切にしたいこと：参加者が十分に意見を言えるプログラム、時間配分にすること

### # アジェンダ設計の考え方：

- ・ アジェンダは、基本的には3アジェンダから5アジェンダ程度に分解して下さい
- ・ 最初の方に、プロジェクトを始めるにあたっての前提をすり合わせる時間を十分に取る（プロジェクトの目的をすり合わせたりや、参加メンバーの思いを確認する時間を十分に取る）

### # アジェンダの出力形態：

- ・ 「表形式」で出力して下さい（項目は以下）  
アジェンダタイトル | 実施事項 | アジェンダのゴール（理想的ゴール/必ず実現したい最低限のゴール） | 生み出したい成果物 | 時間 | 進める上で注意すべきことやリスク
- ・ なお、「アジェンダタイトル」には、番号付きリストは使用しないでください。
- ・ 補足：「アジェンダのゴール」については、「理想的ゴール」と「必ず実現したい最低限のゴール」の両方について「XがYできている状態」という形式で表現すること

## 会議設計（実行例）

私の提案するアジェンダは以下の通りです：

アジェンダタイトル	実施事項	アジェンダのゴール（理想的ゴール/必ず実現したい最低限のゴール）	生み出した成果物	時間	進める上で注意すべきことやリスク
プロジェクトの前提確認	現状のビジネス状況、来年度の目標や方向性の共有	全員がビジネスの現状と来年度の目標・方向性を理解している状態/最低限全員がビジネスの現状を理解している状態	共有ドキュメント	30分	全員が話す機会を確保し、誤解や不明点を解消するための時間を設けること
アイデア共有とディスカッション	参加者全員から事業案を共有し、それぞれのメリット、デメリット、リスクについてディスカッション	全員が提案された事業案の内容と意図を理解し、それぞれのメリットとデメリットを把握している状態/最低限全員が提案された事業案の内容と意図を理解している状態	事業案のリストとそれぞれのメリット、デメリット、リスクの一覧表	60分	話す時間を平等に分け、全員が意見を言うようにする。また、マイナス面だけでなくプラス面もしっかりと探求すること
決定と次回MTGへの課題設定	事業案の最終的な選定と、それに伴うアクションプランの確認と設定	理想的な事業案が選定され、次回MTGへのアクションプランが設定されている状態/最低限選定された事業案が narrowed down され、次回MTGへの課題が設定されている状態	選定された事業案と次回MTGへのアクションプラン	30分	多数決だけでなく、合意に基づく決定を目指す。選定された事業案に対する反対意見や懸念も適切に記録・対応する

このアジェンダ設計について、何か特定の改善点や追加したい項目などありますか？各アジェンダのゴールについて、私の理解が正しいと感じますか？また、参加者全員が十分に意見を言えるようなプログラムになっていると思いますか？アジェンダごとの時間配分についても確認していただきたいです。

Excelの数式を相談



## Excelの数式を作成（プロンプト文）

# 命令文：

次の【処理】を行うExcel関数を教えてください。

# 処理：

- 1) シートのA列に生徒名、B列に点数が記載されている。
- 2) このデータのC列に「評価」列を追加したい。

# 評価基準：

- S：91点以上
- A：81～90点
- B：71～80点
- C：51～70点
- D：50点以下

## Excelの数式を作成（実行例）

Excelの関数を使用して、指定された処理を行うことができます。以下に、該当する処理を行うためのExcel関数の例を示します。

1. C2セルに以下の式を入力し、Enterキーを押します。

```
less
```

[Copy code](#)

```
=IF(B2>=91, "S", IF(B2>=81, "A", IF(B2>=71, "B", IF(B2>=51, "C", "D"))))
```

2. C2セルを選択し、下方向にドラッグしてC列のセルに適用します。

この式は、条件式を使用して点数に基づいて評価を返します。上記の式では、B2セルの値が91以上であれば"S"、81以上90以下であれば"A"、71以上80以下であれば"B"、51以上70以下であれば"C"、50以下であれば"D"を返します。

このようにすることで、指定された評価基準に基づいて生徒の評価を自動的に計算し、評価列に表示することができます。

ロールプレイング  
(研修コンテンツとして)

## プロジェクトを体験するロールプレイング（プロンプト文）

### # 命令文：

あなた（AI）は、プロジェクトマネジメントを学ぶゲーム「プロマネゲーム」のゲームマスター（GM）です。

あなたはGMとして、私（プレイヤー）の入力に対応した、ゲームプレイを提供します。

### # プロマネゲームの設定

- ・プロジェクトの内容は、市役所の全庁的なDX（デジタルトランスフォーメーション）
- ・魅力的な10人のメンバーが登場（それぞれ個性豊かなメンバー）
- ・市役所内だけではなく、市役所外の住民なども関わり、混乱やDXプロジェクトを進める難しさを経験できる
- ・市役所は、人口10万人の町
- ・市長はDXをどんどん進めたいと思っている
- ・プレイヤーのSAN値は行動と展開で大きく変動し、シナリオや結末の方向に影響する。

### # ゲームマスターが行うこと

- ・ゲームマスターは、まず対象となるプロジェクトの基本設定を提示し、プレイヤーキャラ（性別・年齢・性格）を自動生成してください。その後、半沢直樹風の文体でオープニングをスタートし、ユーザー入力を待ってください。
- ・ゲームマスターは各出力のあとで、プレイヤーの現在のSAN値と、多様性のある4つの選択肢を提示し、またユーザーに「自由にアクションを入力してもよい」ことを明示してください。

## プロジェクトを体験するロールプレイング（実行例）

あなたのプレイヤーキャラは、以下の通りです。

名前：三井 真一郎（みつい しんいちろう）

性別：男性

年齢：38歳

性格：分析的で頭の良い、しかし時折孤独感に襲われる。

あなたは、市役所の全庁的なDX（デジタルトランスフォーメーション）プロジェクトのプロジェクトリーダーを任されました。10万人の町の市役所で、市長の熱意を受けて、あなたとあなたの10人のメンバーたちは、この大事業を前に胸の鼓動を高鳴らせています。

プレイヤーの初期SAN値：100

薄暗い市役所の大会議室。無機質な白熱灯が陰影を生み出し、電子機器の微弱な音が響く。そこには10人の個性豊かなメンバーが、一人の男、三井真一郎を見つめている。DXの時代は、荒涼とした荒野のようなものだ。未開の地であり、何が待ち受けているかは誰もわからない。

市長の期待は高く、しかし、その裏には住民たちの不安と混乱がひそんでいる。古い体制と新しいシステムの交錯する市役所。その中心に立つあなたの、今、どうする？

1. プロジェクトメンバーとの初会議を開く
2. 市長とのミーティングを設定する
3. DXに関する情報を収集する
4. 市民の意見を聞くために街を歩く

この4つの選択肢の中から選んでいただくか、あるいは自由に行動を決めていただくことも可能です。あなたの行動を教えてください。

まとめ

- 正解をもらうためではなく、秘書（ディスカッションパートナー）として使う
- 最終的な判断・意思決定は行政側で行う必要があるが、最初のたたき台を数秒で出してくれることの価値が大きい
  - 誰しも、最初の一步に時間がかかるので、そのスピードが早くなると、仕事全体のスピードが圧倒的に早くなる
- 会議関連の時間削減にも繋がる（参考：次ページ）
  - 資料作成や議題の準備など

- まずは、触ってみてください
  - 使ってみることで、良さも限界もわかる
- 今日ご紹介した「プロンプト文」をコピー＆ペーストすれば使えます
  - よろしければ、本資料を庁内にもご共有ください



- 業務量調査から、会議関連にそれなりの時間がかかっていることが明らかに
  - **会議に付随する要素も含めると、全業務量の3割**を占めている
  - **その3割の業務が仮に30%削減できると、全業務の1割分の業務量削減に**
- そのため、これらの業務もDXで効率化していきたいが、**本質はデジタルツールの導入ではなく、会議関連のやり方を変革（トランスフォーメーション）すること**
- 実態は、「変革」という大きなものではなく、ちょっとした改善で劇的に会議関連の業務量を減らせるし、かつストレス的負担も軽減できる



会議・コミュニケーションに関する基本的な原則やスタンスを組織内で明確にして、  
みなさんが楽に仕事を進められる状態にしたい